



年末年始の薬の取り扱いについて

年末年始（12/28(水)17:00～1/4(水)8:30）に使用する薬剤の請求は以下の通りになっています。

【内服・外用薬：調剤室（2669）】

年末年始に投与予定の処方箋は12/28(水)17:00までにオーダーしてください。上記期間中の内服・外用薬処方箋は薬剤部にて出力されます。また、入院時間外処方箋は長期コメントを入力しても最大3日分しか処方できませんのでご注意ください。時間外は薬剤部のシステムが稼働していないため、薬品説明文書提供、自動錠剤分包は行うことができませんので、ご了承ください。

【注射薬：注射調剤室（2724）】 予定注射の締切日にご確認ください。

実施日	入力締切日	交付日
12/28～12/31	12/27(火)の各診療科の締切時間まで	12/27(火)
1/1～1/4	12/28(水)の各診療科の締切時間まで	12/28(水)

※病棟在庫を有効活用していただき、協定在庫使用でオーダーして下さい。翌日にストック使用分として病棟へ送付します。

【院内製剤：製剤室（2666）】 12/29(木)～1/3(火)使用分は、12/27(火)までにご請求ください。

【薬物血中濃度：研究室（2671）】 12/29(木)～1/3(火)まで休止します。

【処置薬：薬務室（2667）】

12/29(木)～1/3(火)使用分は、12/20(火)の午前10時までにご請求ください。払出しは12/22(木)です。（年始の発注は1/10(火)から、払出しは1/12(木)。）

麻薬免許証の期限切れにご確認ください

麻薬免許証の有効期限は、取得の日から翌年の12月31日までです。来年は「第11-」、「第12-」以外はすべて無効になります。今一度ご確認ください。

検査に使用する薬は院内処方です！

検査用薬は、院内における診療報酬の検査料に含まれるため、院外処方はできません。院内処方での対応をよろしくお願ひします。検査用薬は処置扱いとなるため、同じ患者、同じ日、同じ診療科において検査用薬を院内処方、その他を院外処方することが可能です。

安全性情報

★チアマゾールによる先天異常について

「妊娠初期に投与されたチアマゾール(MMI)の妊娠結果に与える影響に関する前向き研究(POEM Study)：中間報告」でMMI投与群におけるさい腸管関連奇形、頭皮欠損といったMMIに関連しているといわれている先天異常の発生頻度が、MMI関連先天異常の一般的な推定発生頻度と比べ高い可能性があることが示されています。

妊娠可能な女性に本剤の投与を開始する際は以下についてお伝えください。

- 1、妊娠の希望についての確認
- 2、甲状腺機能亢進が妊娠に及ぼす影響の説明
- 3、抗甲状腺薬による妊娠へのリスク説明
- 4、本剤による副作用の説明

★ガドリニウム造影剤による腎性全身性線維症に係る安全対策について

ガドリニウム造影剤による腎性全身性線維症については、平成 19 年 4 月及び同年 10 月に使用上の注意の改訂を指示し、注意喚起を行っているところであるが、今般、副作用の報告状況及び海外における状況を評価し、平成 23 年 9 月 20 日付けで製造販売業者に対し使用上の注意の改訂を指示した。

★カルバマゼピンによる重症薬疹と遺伝子多型について

カルバマゼピン（以下、本剤）は皮膚粘膜眼症候群及び中毒性表皮壊死融解症等の重症薬疹の報告件数が多い医薬品の一つである。本剤による重症薬疹発症と、HLA 遺伝子多型との関連性は、既に、本剤の添付文書において、漢民族における報告についての情報提供がなされているが、今般、日本人における報告を検討し、添付文書での情報提供を指示した。

★重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品の使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介する。

◎アナストロゾール(商品名:アリミデックス錠 1mg)＜腫瘍用薬＞

【重大な副作用】

- ・間質性肺炎…咳嗽、呼吸困難、発熱等の臨床症状を十分観察、異常が認められた場合には、胸部 X 線、胸部 CT 等の検査を実施。疑われた場合は投与中止、副腎皮質ホルモン剤の投与等の適切な処置。
- ・血栓塞栓症…深部静脈血栓症、肺塞栓症等があらわれることがあるので、十分観察、異常が認められた場合には投与中止、適切な処置。

※間質性肺炎：2 例（うち死亡 0 例）

※血栓塞栓症：1 例（うち死亡 0 例）（平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 7 月 24 日）

◎テモゾロミド(商品名:テモダール cap 20mg,100mg、テモダール点滴静注用 100mg(当院未採用))＜腫瘍用薬＞

【重大な副作用】

中毒性表皮壊死融解症(Toxic Epidermal Necrolysis: TEN)、皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson 症候群) …十分観察、異常が認められた場合は投与中止、適切な処置。

※中毒性表皮壊死融解症：1 例（うち死亡 0 例）

※皮膚粘膜眼症候群：2 例（うち死亡 0 例）（平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 14 日）

◎リトリン塩酸塩(注射剤)(商品名:ウテメリン注 50mg)＜流早産防止薬＞

【重大な基本的注意】胎児、新生児に心不全があらわれることがある。

【重大な副反応】胎児及び新生児における心不全

…特に 2 週間以上の投与例で心不全を認めた報告がある。胎児期から心拡大等の心不全徴候に留意し、異常が認められた場合は、適切な処置。

※胎児及び新生児における心不全：4 例（うち死亡 0 例）（平成 20 年 4 月 1 日～平成 23 年 7 月 26 日）

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ（<http://www.info.pmda.go.jp/>）又は厚生労働省ホームページ（<http://www.mhlw.go.jp/>）からも入手可能。

誤接種防止のための再度のお願い

両薬剤とも肺炎球菌による感染症を予防するワクチンですが、接種対象者が異なります。使用の際には今一度ご注意ください。

販売名	ニューモバックス NP	プレバナー水性懸濁皮下注
投与・接種対象者	2 歳以上で肺炎球菌による重篤疾患に罹患する危険が高い者（高齢者等）	2 ヶ月齢以上 9 歳以下の間にある者
生物学的製剤基準名	肺炎球菌ワクチン 	沈降 7 価肺炎球菌結合型ワクチン（無毒性変異ジフテリア毒素結合体） 

PMDA からの医薬品適正使用のお願い No2、3、4、5

★禁煙補助薬チャンピックス[®]錠(バレニクリン酒石酸塩)服用中の自動車事故について

チャンピックス錠服用中の方が自動車の運転等の危険を伴う機械の操作をしないよう指導を徹底してください。

チャンピックス錠を服用後に、意識障害があらわれ、自動車事故に至った報告があることから、本剤服用中の方は自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事しないよう注意喚起されていますが、依然として交通事故に至った症例が報告されています。

★免疫抑制作用を有する医薬品の投与に伴う B 型肝炎ウイルス増殖について

免疫抑制剤、抗悪性腫瘍剤、抗リウマチ剤などの免疫抑制作用を有する医薬品については、B 型肝炎ウイルス感染のある患者(HBs 抗原(-)含む)に投与した場合、ウイルスの増殖による肝炎があらわれることがあるので、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うよう注意喚起されています。しかしながら、副作用報告において、B 型肝炎ウイルス増殖が報告されており、中には劇症化した症例も報告されています。

これら医薬品を投与する場合は、肝機能検査値や肝炎ウイルスマーカーのモニタリングを行うなど B 型肝炎ウイルス増殖の徴候や症状の発現に注意して使用してください。

★痛風・高尿酸血症治療薬ベンズプロマロン(ユリノーム[®]錠)の定期的な肝機能検査の実施・自覚症状の確認について

副作用として肝障害が発現する可能性があり、肝障害の徴候が認められているにもかかわらず投与を続けた結果、重篤化した症例も報告されています。投与にあたっては、下記事項にご留意ください。

- ・投与開始後少なくとも 6 ヶ月間は必ず定期的な肝機能検査(3 ヶ月に 1 回以上を目安)を実施し、それ以降も定期的に肝機能検査を実施してください。
- ・患者に対し、肝障害に伴う自覚症状の発現に注意し、自覚症状があらわれた場合には投与中止し直ちに受診するよう、十分な指導をお願いします。
- ・投与中は、検査値異常や自覚症状等の肝障害の徴候に注意してください。

★抗甲状腺剤チアマゾール(メルカゾール[®]錠、注)による無顆粒球症の防止・早期発見のため、定期的な血液検査の実施・自覚症状の確認をお願いします

◎定期的な血液検査の実施について

- ・投与開始後少なくとも 2 ヶ月間は原則として 2 週に 1 回定期的な血液検査を実施し、それ以降も定期的に血液検査を実施してください。
- ・血液検査は白血球分画も含めて実施してください。
- ・白血球数が正常域であったとしても、減少傾向にある場合には直ちに投与を中止し、適切な処置を行ってください。

◎自覚症状の確認について

患者に対しては、以下の点について十分な指導をお願いします。

- ・咽頭痛、発熱、倦怠感等があらわれた場合には、直ちに受診すること。
- ・受診の際には、医師にチアマゾールを服用中であることを伝えること。

医薬品医療機器情報提供ホームページ(http://www.info.pmda.go.jp/iyaku_info/tekisei_pmda.html) 参照。

投薬期間制限解除のお知らせ

★ジクアス点眼液 3%(一般名:ジクアホソルナトリウム)〈ドライアイ治療剤〉

★ザイザル錠 5mg(一般名:レボセチリジン塩酸塩)〈アレルギー性疾患治療剤〉

★バイエッタ皮下注 5 μ g ペン、10 μ g ペン(一般名:エキセナチド)〈糖尿病治療剤〉

★サムスカ錠 15mg(一般名:トルパブタン)〈利尿剤〉

★インヴェガ錠 3mg(一般名:パリペリドン)〈抗精神病剤〉

※薬価収載から 1 年が経過したため、2012 年 1 月 1 日から投薬期間制限解除(システムの都合上、1 月 5 日よりオーダ対応)

効能・効果、用法・用量改訂のお知らせ

★サンドスタチン LAR 筋注用 20mg(一般名:オクトレオチド酢酸塩)＜ソマトスタチン製剤＞

【効能・効果】消化管神経内分泌腫瘍

【用法・用量】30mg を4週毎に臀部筋注(適宜減量)。

★ベセルナクリーム 5%(一般名:イミキモド)＜尖圭コンジローマ、日光角化症治療剤＞

【効能・効果】日光角化症(顔面又は禿頭部に限る)

【用法・用量】治療部位に適量を1日1回、週3回、就寝前に塗布。起床後に塗布した薬剤を石鹸を用い、水又は温水で洗い流す。4週間塗布後、4週間休薬し、病変が消失した場合は終了とし、効果不十分の場合はさらに4週間塗布。

★ジフルカンカプセル 100mg(一般名:フルコナゾール)＜真菌症治療剤＞

【効能・効果】造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防

【用法・用量】成人:1日1回400mg投与。

＜小児用量追加＞1日1回投与。1日400mgを超えない。カンジダ症:3mg/kg。クリプトコッカス症:3~6mg/kg、重症又は難治性真菌感染症の場合は12mg/kgまで増量可。造血幹細胞移植患者における深在性真菌症の予防:12mg/kg(適宜減量)。

＜新生児用量追加＞小児と同じ用量を、生後14日までは72時間毎、生後15日以降は48時間毎に投与。

包装変更等のお知らせ

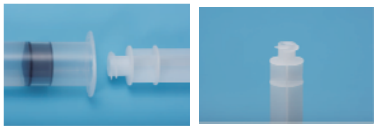





★ラコール専用フレーバー

「コーヒー味」提供中止。代替はココア味、レモンスカッシュ味、コーンスープ味。

★アムロジン OD 錠 2.5mg、5mg(一般名:アムロジピンベシル酸塩)＜カルシウム拮抗剤＞

	変更前		変更後
PTP シート デザイン変更		→	

★イノバン注 0.3%シリンジ 150mg/50mL(一般名:ドパミン塩酸塩)＜急性循環不全改善剤＞

	変更後		変更後
押し子とガスケット の接続部改良		→	  <p>①押し子とガスケットの間に押し子接続用部品を加えた。 ②押し子部位のネジ山構造を変更。</p>
ブリスタートップ、シリンジラベルのイラスト変更		→	  <p>「押し子組み立て時の注意」イラスト変更</p>

潰瘍治療剤 プロトンポンプ阻害剤

エソメプラゾールマグネシウム水和物
esomeprazole magnesium hydrate

★ネキシウム Nexium

cap:20mg 第一三共薬価 168.9

【効】(1)胃潰瘍、十二指腸潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎、Zollinger-Ellison症候群 (2)非ステロイド性抗炎症薬投与時における胃潰瘍又は十二指腸潰瘍の再発抑制 (3)胃潰瘍、十二指腸潰瘍、胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病、早期胃癌に対する内視鏡的治療後胃におけるヘリコバクター・ピロリの除菌の補助

【用】(1)1日1回20mg投与 胃潰瘍、吻合部潰瘍、逆流性食道炎:8週間 十二指腸潰瘍:6週間 再発・再燃を繰り返す逆流性食道炎の維持療法において は、1日1回10~20mg投与 (2)1日1回20mg投与 (3)1回本剤20mg、アモキシシリン水和物750mg、クラリスロマイシン200mgの3剤を同時に1日2回7日間投与 クラリスロマイシンは必要に応じて適宜増量、1回400mg上限 前記3剤投与による除菌治療が不成功の場合、クラリスロマイシンに代わりメロ

ニダゾール1日2回250mgを加え3剤同時に1日2回7日間投与

【禁】本剤成分過敏症 アタザナビル硫酸塩

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 汎血球減少症 無顆粒球症 血小板減少 劇症肝炎 肝機能障害 黄疸 肝不全 中毒性表皮壊死融解症 皮膚粘膜眼症候群 間質性腎炎 低ナトリウム血症 錯乱状態

【備考】omeprazoleのS体(光学活性体)

ハップ剤

ケトプロフェン ketoprofen

★モーラスタップ30 Mohrus 30

貼付剤:30mg×7枚/袋 久光薬価 178.5/袋

【効】次の疾患並びに症状の鎮痛・消炎・消腫:変形性関節症、肩関節周囲炎、腱・腱鞘炎、腱周囲炎、上腕骨上顆炎(テニス肘等)、筋肉痛、外傷後の腫脹・疼痛

【用】1日2回患部に貼付

【禁】本剤成分過敏症 アスピリン喘息 チアプロフェン酸、オクトクリン過敏症 光線過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 喘息発作の誘発(アスピリン喘息) 接触皮膚炎 光線過敏症

【備考】NSAIDs 貼付剤

殺菌消毒剤

クロルヘキシジングルコン酸塩 chlorhexidine gluconate

★ヘキサザック Hexizac

ローション:500mL 吉田薬価 ー

【効】手指の消毒

【用】本剤をそのまま使用

【禁】クロルヘキシジン製剤過敏症 腫・膀胱・口腔等の粘膜面 損傷皮膚及び粘膜炎

【備考】0.2w/v%クロルヘキシジングルコン酸塩エタノール様式製剤

【総合アミノ酸輸液/成分表】

製品名	容量 mL	アミノ酸含有量 (mg/100mL)											糖質	総窒素量	アミノ酸総量	mg/100mL	Na ⁺ Cl ⁻	mEq/L	薬価	
		ヒソチシン	アラキニン	トリアプトファン	トトレオニン	ソアラニン	ソアラニン	ソアラニン	ソアラニン	ソアラニン	ソアラニン	ソアラニン								ソアラニン
小児IPN用総合7ミシ/プレアミン-P注射液 1歳未満用	200	800	1600	677	150	250	240	120	600	1000	250	80	80	80	7.6	1.175	ー	ー	23	469
小児IPN用総合7ミシ/プレアミン-P注射液 1歳以上用	200	800	1600	677	150	250	240	120	600	1000	250	80	80	80	7.6	1.175	ー	3	23	469

*** 耐糖性

【効】新生児(出生時体重2kg以上)、乳児及び1~3歳の幼児における低蛋白血症、低栄養状態、手術前後のアミノ酸補給

【成】上記以外 (20ml/1中) [7リシP] 約1/40mg

【禁】肝性昏睡またはそのおそれ、重篤な腎障害、高窒素血症、アミノ酸代謝異常

【電解質製剤(補正用)】

注射剤製品名	成分 容量(mL)				陽イオン mEq/mL			陰イオン mEq/mL		薬価	
	Na ⁺	K ⁺	Ca ⁺⁺	Mg ⁺⁺	Cl ⁻	Mg ⁺⁺	Ca ⁺⁺	Cl ⁻	その他		
P 剤	0.75								P	136	
リナリン補正液 0.5mmol/mL									0.5mmol/mL	136	
Sodium phosphate corrective 注: 20mL 大塚										136	

その他のリウマチ・関節症治療剤

エタネルセプト(遺伝子組換え)
etanercept(genetical recombination)

★**エンブレル** Enbrel
ファイザー
薬品
コード
[エンブ 63] 30,206

【効】関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に
限る)

【用】10～25mgを1日1回、週に2回、又は25～50mg
を1日1回、週に1回皮下注

【警】重篤な感染症及び脱髄疾患の悪化、悪性腫瘍
の発現の報告あり 本剤が疾病を完治させる薬剤
でないことも含め、患者に十分説明し、理解を得た
上で有益性投与緊急時の対応が十分可能な医
療施設及び医師が使用し、副作用が発現した場合
には主治医に連絡するよう患者に注意を与える
致死的な感染症が報告されている 結核が発症し
死亡例も報告されているため、結核に関する十分
な問診、胸部レントゲン検査、ツベルクリン反応検
査を行い、適宜胸部 CT 検査等を行うことにより結
核感染症の有無を確認 結核既感染者には抗結核
薬の投与をした上で本剤を投与 ツベルクリン反応

その他のリウマチ・関節症治療剤

ゴリムマブ(遺伝子組換え)
golimumab(genetical recombination)

★**シンボニー** Simponi
トヨタ三菱
薬品
コード
[シンホ 6] 142,184

【効】既存治療で効果不十分な関節リウマチ(関節の
構造的損傷の防止を含む)

【用】メトトレキサートを併用する場合、50mgを4週に1
回皮下注 1回100mg使用可 メトトレキサートを併
用しない場合、100mgを4週に1回皮下注

【警】重篤な感染症及び脱髄疾患の新たな発現若しく
は悪化、悪性腫瘍の発現が報告 本剤が疾病を完
治させる薬剤でないことも含め、十分説明、理解し
たことを確認の上、有益性投与 重篤な副作用によ
り、致命的な経過をたどることがある、緊急時の対
応が十分可能な医療施設において医師の管理指
導のもと使用 副作用が発現した場合、主治医に
連絡するよう患者に注意 致死的な感染症が報告、
十分観察、発症に注意 結核が発症し、致命的な
例も報告 結核に関する十分な問診、胸部レントゲ
ン検査及びツベルクリン反応検査を行い、適宜胸

部CT検査、インターフェロンγ応答測定(クオンタイ
フェロン)等を行うことにより、結核感染症の有無を確認
 結核既往歴を有する患者及び結核の感染が疑
われる患者には、結核等の感染症について診療権
限を有する医師と連携の下、原則として本剤の投
与開始前に適切な抗結核薬を投与 ツベルクリン
反応等の検査が陰性の患者において、投与後活動
性結核が認められた例も報告 脱髄疾患の臨床症
状・画像診断上の新たな発現若しくは悪化が、本剤
を含む抗 TNF 製剤でみられたとの報告 脱髄疾患
及びその既往歴のある患者には投与しない 脱髄
疾患を疑う患者に投与する場合には、適宜画像診
断等の検査を実施するなど、十分観察 関節リウマ
チ患者では、本剤の治療を行う前に、少なくとも1
剤の抗リウマチ薬等の使用を十分観察 十分な知
識と経験をもつ医師が使用

【禁】重篤な感染症 活動性結核 本剤成分過敏症 脱
髄疾患及びその既往歴 うつ血性心不全
【重大な副作用】重篤な感染症 結核 脱髄疾患 重
篤な血液障害 うつ血性心不全 重篤なアレルギー
反応 ルーペーズ様症候群
【備考】ヒト型抗ヒト TNFαモノクローナル抗体製剤

解熱鎮痛薬 非麻薬性鎮痛剤

ブプレノルフィン buprenorphine
★**ノルspan** Norspan

久光
薬品
コード
[ノルス 4] 1,529.1

【効】非オピオイド鎮痛剤で治療困難な変形性関節症、
腰痛症に伴う慢性疼痛における鎮痛

【用】前胸部、上背部、上腕外部又は側胸部に貼付し、
7日毎に貼り替えて使用 初回は5mg 症状に応じ
て適宜増減 20mgを超えない

【禁】本剤成分過敏症 重篤な呼吸抑制状態 呼吸機
能障害

【重要な副作用】呼吸抑制 呼吸困難 ショック アナ
フィラキシー様症状 依存性

抗精神病薬 その他の抗精神病薬

パリエリドン paliperidone
★**インヴェガ** Invega

ヤンゼン
薬品
コード
[インク 0] 246.2

【効】統合失調症

【用】6mgを1日1回朝食後投与 1日12mgを超えな
い範囲で適宜増減 増量は5日間以上の間隔をあ
けて3mgずつ行う

【禁】昏睡状態 バルビツール誘導体等の中枢神
経抑制剤の強い影響下にある患者 アドレナリン
本剤成分及びリスペリドン過敏症 中等度から重度
の腎機能障害

【重大な副作用】悪性症候群 遷発性ジスキネジア
肝機能障害 黄疽 横紋筋融解症 不整脈 脳血
管障害 高血糖 糖尿 糖尿病性クetoアシドーシス 糖尿
病性昏睡 低血糖 無顆粒球症 白血球減少 肺
塞栓症 深部静脈血栓症

その他の中枢神経系用剤

ブレガバリン pregabalin
★**リリカ** Lyrica

ファイザー
薬品
コード
[リリカ 02] 100.5

【効】末梢性神経障害性疼痛

【用】1日150mgを2回に分服、その後1週間以上か
けて1日300mgまで漸増(適宜増減) 1日最高
600mg いずれも2回に分服

【禁】本剤成分過敏症
【重大な副作用】心不全 肺水腫 意識消失 横紋筋
融解症 腎不全 血管浮腫

β-遮断薬

ランジオロール塩酸塩 landiolol hydrochloride
★**コアベータ** Corebeta

小野
薬品
コード
[コアベ 6] 2,634

【効】心拍数時の冠動脈造影による冠動脈造影にお
ける高心拍数時の冠動脈描出能の改善

【用】1回0.125mg/kgを1分間で静注

【禁】心原性ショック 糖尿病性クetoアシドーシス 代謝
性アシドーシス 徐脈性不整脈 肺高血圧症による
右心不全 うつ血性心不全 未治療の褐色細胞腫
本剤成分過敏症

リンコマイシン系

クリンダマイシン塩酸塩
clindamycin hydrochloride (CLDM)

★ダラシン Dalacin

Cap.:150mg

ファイザー
薬価
コード
[クワン01] 24.9
【用】1 回 150mg を 6 時間ごとに投与 重症感染症:1 回 300mg を 8 時間ごと [小児]1 日 15mg/kg を 3~4 回に分服 重症感染症:1 日 20mg/kg を 3~4 回に分服 (適宜増減)

【禁】本剤成分又はリンコマイシン系抗生物質過敏症 エリスロマイシン

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 重篤な大腸炎 皮膚粘膜眼症候群 中毒性表皮壊死症 剥脱性皮膚炎 無顆粒球症

その他の抗腫瘍剤

アザシチジン
azacitidine

★ビダーザ Vidaza

日本新薬
薬価
コード
[ヒカサ61] 49,993

注射用(劇):100mg/V
【効】骨髓異形成症候群
【用】1 日 1 回 75mg/m² を 7 日間皮下注又は 10 分かけて点滴静注し 3 週間休薬 これを 1 サイクルとし繰り返す (適宜減量)

【禁】緊急時に十分対応できる医療施設で、十分な知識・経験を持つ医師のもと、適切な例についてのみ投与 有効性・危険性を十分に説明し、同意を得てから投与
【禁】本剤成分過敏症 妊婦又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】骨髄抑制 感染症 出血 心臓害 ショック アナフィラキシー様症状 肝機能障害 黄疸 腎不全 腎尿細管性アシドーシス 低血圧

その他の代謝性医薬品

ミノロン酸水和物
minodronic acid hydrate

★リカルボン Recalbon

小野
薬価
コード
[リカル02] 3,433.4

錠(劇):50mg
【効】骨粗鬆症
【用】50mg を 4 週に 1 回、起床時に十分量 (約 180mL) の水とともに経口投与 服用後少なくとも 30 分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること

【禁】食道狭窄又はアカシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害 服用時に上体を 30 分以上起こしていることのできない患者 本剤成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤過敏症 低カルシウム血症 妊婦又はその可能性のある婦人
【重大な副作用】上部消化管障害 顎骨壊死・顎骨骨髄炎 大腿骨転子下及び近位大腿骨骨幹部の非定型骨折
【備考】ビスホスホネート系

その他の代謝性医薬品

ロミプロスチム(遺伝子組換え)

romiplostin (genetical recombination)

★ロミプレート Romiplate

協和発酵キリン
薬価
コード
[ロミ761] 67,972

皮下注:250µg 調製用/V
【効】慢性特発性血小板減少性紫斑病
【用】初回 1µg/kg 投与開始後は適宜増減し週 1 回皮下注 最高投与量は週 1 回 10µg/kg
【禁】本剤成分過敏症
【重大な副作用】血栓症 血栓塞栓症 骨髄レチクリン増生 出血
【備考】トロンボポエチン受容体作動薬

その他の代謝性医薬品

ウステクニマブ(遺伝子組換え)

ustekinumab (genetical recombination)

★ステララー Stelara

ヤンセン
薬価
コード
[ステラ61] 426,352

皮下注(劇):45mg/0.5mL/シリンジ [ステラ61]
【効】既存治療で効果不十分な尋常性乾癬、関節症性乾癬
【用】初回投与及びその 4 週後に 1 回 45mg 皮下注、以降 12 週間隔で投与 効果不十分な場合には 1 回 90mg 投与可

【警】感染のリスクを増大させる可能性があり、結核の既往歴を有する患者では結核を活動化させる可能性あり 悪性腫瘍の発現が報告 疾病を完治させる薬剤でないことも含め、これらの情報を患者に十分説明、理解したことを確認した上、有益性投与専門医が使用し、副作用が発現した場合は、主治医に連絡するよう患者に注意を与える 重篤な感染症が報告されているため、十分観察 感染症の発症に注意 本剤治療開始前に、紫外線療法を含む既存の全身療法(生物製剤を除く)の適用を十分勘案 乾癬の治療経験を持つ医師と結核等の感染

抗凝血剤

エドキシサバンチン酸塩水和物 edoxaban tosilate hydrate

★リクシアナ Lixiana

第一三共
薬価
コード
[リクシ01] 727.3

錠:30mg
【効】下肢整形外科手術施行患者(膝関節全置換術、股関節全置換術、股関節骨折手術)における静脈血栓塞栓症の発症抑制

【用】1 日 1 回 30mg 経口投与
【警】脊椎・硬膜外麻酔あるいは腰椎穿刺等との併用により、穿刺部位に血腫が生じ、神経の圧迫による麻痺があらわれられるおそれがある 併用する場合は神経障害の徴候及び症状について十分注意し、異常が認められた場合は直ちに適切な処置
【禁】本剤成分過敏症 出血 高度の腎機能障害 (CLcr 30mL/min 未満) 急性細菌性心内膜炎
【重大な副作用】出血
【備考】活性化血液凝固第Ⅹ因子阻害剤

鉄欠乏性貧血治療薬

含糖酸化鉄 saccharated ferric oxide

★フエジン Fesin

日医工
薬価
コード
[フエシ61] 63

錠注:40mg/2mL/A
【効】鉄欠乏性貧血
【用】1 日 Fe として 40~120mg を 2 分以上かけて徐々に静注(必要鉄量を算出し投与)

【禁】鉄欠乏状態にない患者 重篤な肝障害 本剤過敏症
【重大な副作用】ショック 骨軟化症
【備考】コバルト性、アルカリ性